

災害や火災に備え防災訓練を実施しました。

(令和3年11月9日)

発災時に利用者・入所者の皆様は自力避難が出来ない方が多く、利用者・入所者の安全確保や避難誘導は職員の重要な任務です。

今回は、災害の恐ろしさやそれに対応するにはどうすればよいか、座学や、実技することを中心に、令和3年11月9日午後に次の訓練を実施しました。

1 地震・水害から命を守るために

講師に災害ボランティアコーディネーターなごや代表の高崎賢一氏を迎え、次の内容でパワーポイントを使い講話を聞きました。

- ① 南海トラフ巨大地震被害想定とその対応
- ② 熊本の高齢者施設での水害による被害状況
- ③ スーパー台風による高潮被害想定

2 避難誘導のための搬送訓練

港消防署から消防士を招き、ダミー人形を活用した搬送の実施訓練を行いました。

3 自動火災報知設備の取扱い

消防設備業者の職員から、火災報知器が鳴動した場合どのように対応するか説明を聞きました。

いざという時に対応できるよう、消火器がどこに配置してあるか確認し、日頃から防災意識を高めるようにしました。

